

# 古典の日

六

## 殺生石



松尾芭蕉

## 野をよこに馬牽むけよ郭公

是より殺生石に行。館代が馬にて送らる。此口付のおのこ、短尺得させよ」と乞。やさしき事を望待るものかな」と、

殺生石は温泉の出る山陰にあり。石の毒気はまだほろびず、蜂・蝶のたぐひ、真砂の色見えぬほどかさなり死す。

又清水流るゝの柳ハ、芦野の里にありて、田の畔に残る。此所の郡守戸部某の、「此柳見せばや」など、折くゝにの給ひきこえ給ふを、「いづくのほどにや」と思ひしを、けふこの柳のかけにこそ立寄り侍れ。

## 田一枚植て立去ル柳かな



栃木県那須町にある殺生石。今は観光スポットになっている

新編日本古典文学全集第71巻・松尾芭蕉集2『紀行・日記・俳文・連句編』(小学館刊)から転載。校注者・井本農一、久富哲雄

## 一声の弧を引いて飛び去る

元禄二年四月十六日(一六八九年六月三日)、芭蕉と曾良はついに黒羽を発つて、高久経由で那須岳山麓の湯本に向かった。那須野ヶ原を北々東に三十キロ余りも行く野道である。黒羽の館代は懇切で、途中まで家来をつけ馬を貸してくれた。

野をよこに馬牽むけよ郭公

の句は、このときの馬子の意外な風流心に答えての作。いま、道の横の草原の上を、するどい声を後に残して、ほととぎすが一羽鳴き過ぎて行った。馬子よ、あの声のした方に馬の向きを変えよ、いますぐに、との手綱とる者への命令の句だ。「野を横に」の語気が切迫していて爽快、那須野の景の広がりや二氣にまよひおこす。しかもこの上五は、「牽むけよ」の切れ字を跳びこえて「郭公」にまで響く。芭蕉の四年後の作に――

郭公声横たふや水の上  
一声の江に横ふやほととぎす

の秀吟がある。彼にとつてほととぎすとは、野や水の上を横さまに、一声の弧線のみを残して消え去るものだったのではなからうか。

那須湯本の温泉に泊ると、翌日は快晴の下を標高一二〇〇メートルの温泉神社に登った。その裏山の殺生石の毒気の怖しさにはさすがに驚いた。翌四月二十日、那須高原を難儀しながら下つて、奥州街道の宿場芦野に出た。西行の「道のべに清水流るゝ柳かけしばしとてこそ立ちどまり侍れ」の歌、またそれを踏む謡曲「遊行柳」以来、芭蕉の心を離れなかった柳一本に詣るためである。田の畔に生えるその柳の下に「立寄」つての芭蕉の句が難かしい。

「田一枚植」えたのが土地の早乙女で、それを見てやがて「立去」つたのが詩人なのか、どちらについても主語は早乙女なのか、いや芭蕉なのか。いや能で、遊行上人によって成仏する柳の精の老翁なのではないか。西行の歌の「しはし」に依じて一番自然な解は、やはり詩人が、早乙女の「一仕事を終えて、ふと感慨からさめて柳の蔭を離れた、とこのことであらう。

## おくのほそ道

芳賀徹さん

とたずねる

6

## 文様に見る美意識の深さ

私は、銀行員から伝統産業である和紙の世界に飛び込み、建築空間に生きる和紙造形の創造をテ

## 古典と私

ーマに活動してきました。独学でものづくりの世界を歩んできた私にとって、身近な古典は日本の「古典文様」でした。

和紙ディレクター 堀木エリ子さん



昔、人々が命への祈りや自然への敬意、感謝の気持ちから生み出した日本の文様。その思いにふれるたびに日本人の美意識の深さや表現の美しさに感動してきました。

宇宙の良い兆しが湧き上がるという吉祥の意味を持つ文様、人と人や事柄と事柄の良い部分だけが重なって広がるという願いが込められた文様もあります。このように古典文様には日本人独自の想いや意味合いがあり、それを着物の柄や建築様式に取り入れることによって日本の文化が培われてきました。日本の伝統産業が継承すべきものは職人さんの

技術だけでなく、背景にある人間の想いや日本人としての美学、精神性の部分ではないかと感じています。時代を経て環境が変わっても、人間の願いや祈り、人間にとって大切な想いというものには変わらないものです。和紙の世界に入ってから23年が経ちましたが、古典を通じて、自然の偉大さや人間の営みの尊さ、深い観察力と柔軟な発想力の大切さを学ぶ毎日です。



古典文学・文化を広めようと、古典の日推進委員会は11月1日を「古典の日」と定めた。



京都市左京区岡崎にある香川景樹の居宅址を示す石碑

人間の真情の自然の流露として詠むものとする近代文学的な歌論(調べの説)を唱えました。全国に弟子を持ち、門流の桂園派は一大勢力となりました。既成の歌壇に挑戦した景樹でしたが、作歌上は古今和歌集を尊び、平明で優美な歌風を特徴とします。金戒光明寺近くの住宅街の路地裏に、景樹宅址の石碑があります。景樹に学んだ女流歌人大田垣蓮月も一時期岡崎に暮らし、「岡崎の月見に來ませ都人かどの畑芋煮て祀らなむ」という楽しい歌があります。(NPO法人・都草 高坂相)

左京・岡崎の里にある景樹宅址

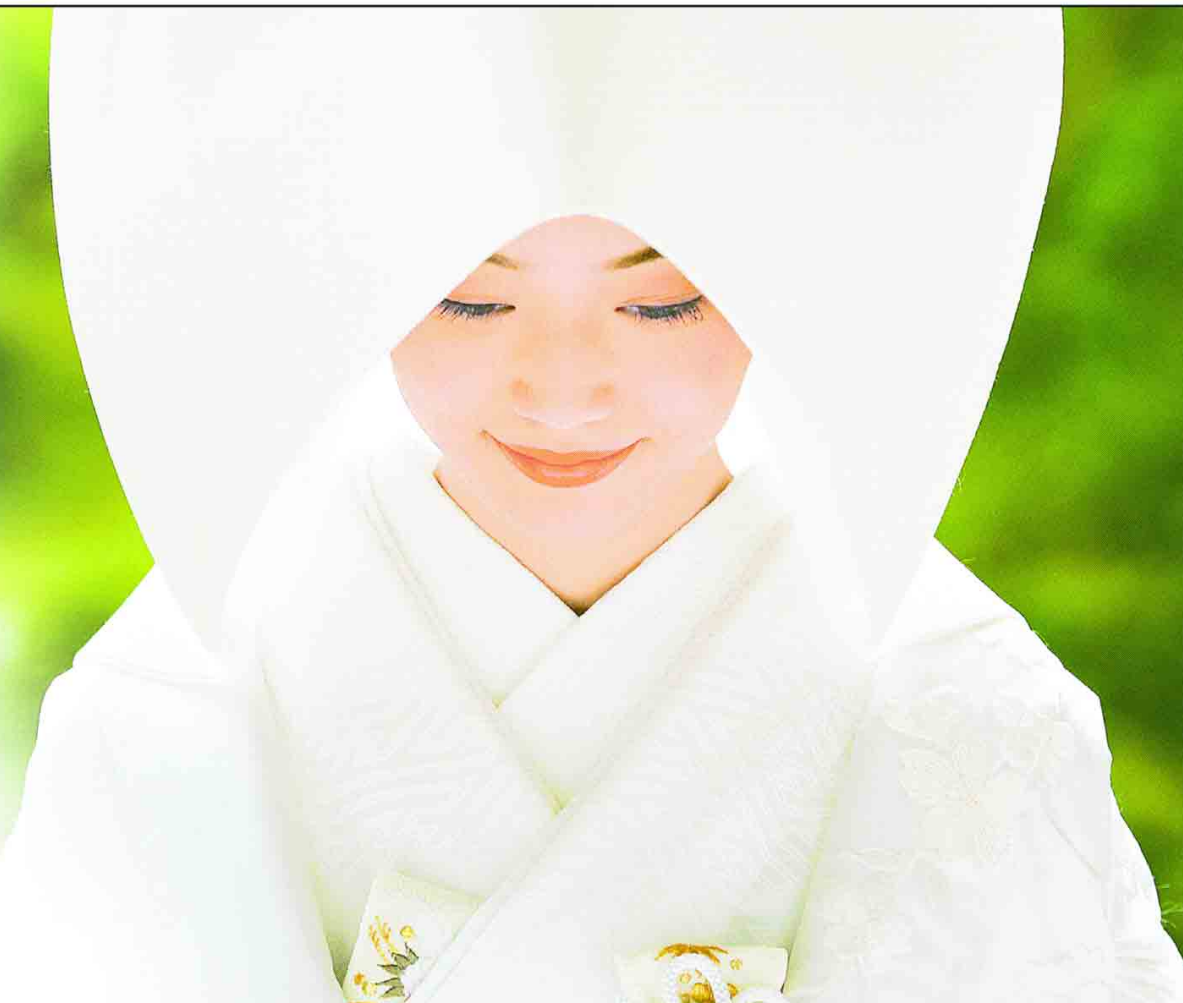
# 親しむ



## 京都和婚

京都の由緒ある  
神社仏閣で、  
本物の和の挙式を。

京都和婚 検索



忘れたくない一日を、  
忘れられない一日に。



WATABE WEDDING

秋のキャンペーン実施中

お問い合わせは

ワタベウエディング  
京都和婚オペレーションセンター  
TEL.075-432-3851